

(令和7年度)

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

無鄰菴の運営について

国指定名勝 無鄰菴は、市民の文化の向上及び発展に資することを目的として、一般公開を開始した施設です。

施設の主な取組（概要）

○ 自主事業の企画・実施

庭園講座、文化講座、新緑・紅葉ライトアップ、夜間一棟貸しといった自主事業を企画・実施しています。

○ 情報発信

ホームページやSNS等で、施設や自主事業に関する情報の発信を行っています。



施設の利用状況（概数）

○ 年間約6.1万人の方々にご来館いただいています。

（令和6年度6.1万人、令和5年度5.9万人、令和4年度4.8万人）

無鄰菴に関する収入と支出（概数）

利用者1人当たりには換算すると、上記の取組などによる年間の支出は770円（総額51百万円）、利用料などの収入は670円（総額45百万円）です。この他、施設を利用しない方も含めた、市民の皆様からの税金や指定管理者からの納付金のほか国内外からの観光客等による宿泊税を活用し、運営しています。

＜支出：770円（総額51百万円）＞

総務事務費	職員人件費	施設管理費	維持 修繕費
160 円	380 円	150 円	80 円

＜収入：670円（総額45百万円）＞

貸室料	入場料等	差額 100 円
20 円	650 円	

市民の皆様からの税金及び指定管理者で負担

※ 無鄰菴及び岩倉具視幽棲旧宅を一括管理しているため、両施設の数値を合算して記載しております。